（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆずの家			
○保護者評価実施期間	2025年　10月　29日	～	2025年　11月　21日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	21家庭	（回答者数）	19家庭
○従業者評価実施期間	2025年　10月　29日	～	2025年　11月　19日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	６名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　11月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	若い職員が増えたため公園等で児童と一緒に活動出来る	苦手な事に挑戦する機会が増える様にスタッフが一緒に活動したり、声掛けしている。	今まで経験していない遊びにも挑戦していきたい。
2	季節に応じたイベントや壁面製作を豊富に行っている	マンネリ化しないように内容をその都度変えている 会議で職員の意見を集め、担当を変えることで物事のアプローチや視点の変化で様々な支援を行えるように工夫している	ワクワクするように児童の意見も取り入れながらイベント内容を立案していきます
3	ゆずの家の畑や地域交流として水足営農組合さんや県立農業高校の畑などで野菜の苗の植え付けや収穫体験を行っている	体験することで、興味関心が持てる様に工夫している。 収穫したものをクッキングやおやつで提供することで食育に取り組んでいる	収穫した野菜をどのような調理で食べたいかを聞き、おやつやクッキングで提供することで興味を持ってほしい。 自宅でどのように食べたかを発表する機会をもって食育に取り組みたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラムの立案が難しい	利用児童によってできる、できないのがあり集団療育をどこに合わせるかをしっかり考えていく必要がある	打ち合わせや会議を行いチームで協力して立案し個別サポートも必要に応じて対応していく
2	日本家屋の構造の為欄間があり、高さが低い所がある。	児童の成長に伴い頭上を注意しなければならない	必要に応じて声掛けします 活動時の配席に配慮します
3	経験が浅いスタッフがいる	経験不足のため	研修（社外、内部）を行い、知識を増やして経験を積んでいく。 ヒヤリハットの事案を通して会議を行う。